



《フニーニョとは》

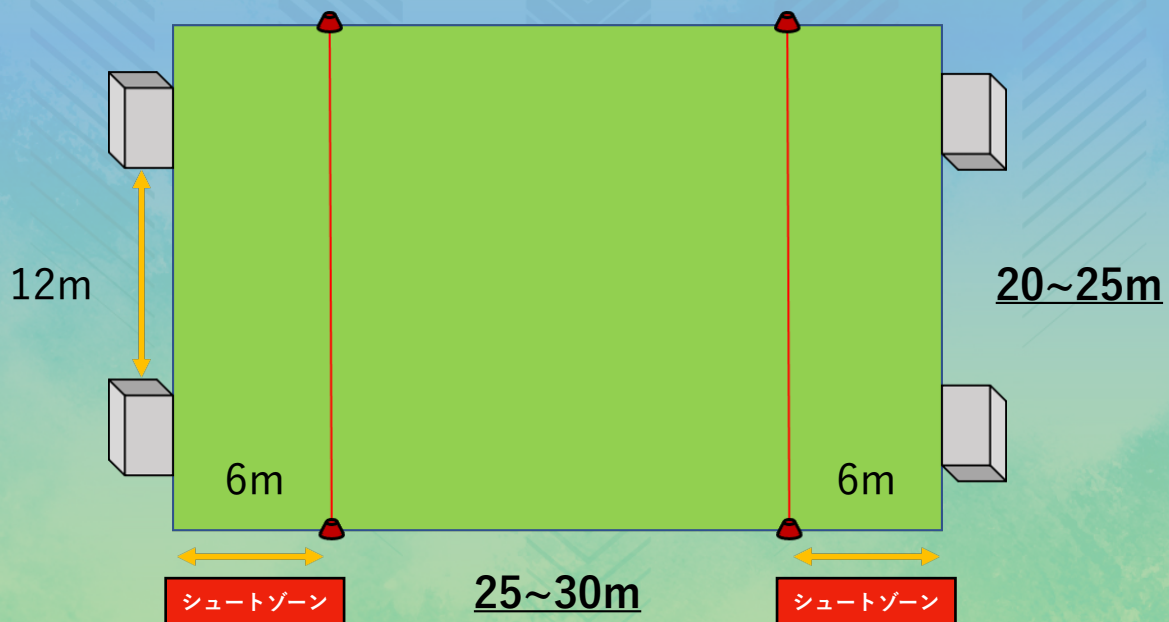
フニーニョ (FUNiño) は英語のFun(楽しさ)とスペイン語のNiño(子ども)から作られた言葉で、ドイツ人のHorst Wein(ホルスト・ヴァイン)氏によって開発されました。

ドイツではこれまで11歳以下のカテゴリーでは7人制で公式戦が行われてきました。フニーニョは7人制よりたくさんのボールコンタクトがあります。(7人制より60%多い)

ドリブルは7人制の5倍、パスは7人制の2倍の機会があります。

まだ身体的に劣る子どもたちにも、より頻繁にボールが回るようになります。

多くのゴールチャンス=成功体験に繋がります。



●ルール

自陣ゴールライン上に並ぶ。GKなし。コーチがボールを投げ入れてスタート。

オフサイドなし。ゴールはシュートゾーン内からのみ。

タッチラインからボールが出たらキックインorドリブルイン。

コーナーキックもキックインorドリブルイン(直接あり)

ゴールキックや失点した場合、自陣シュートゾーンからキックインorドリブルイン。

フリーキックは全て間接。フリーキック時相手はボールから3m離れる。

シュートゾーン内でのファウルは最も近いシュートゾーンのライン上からスタート(PKなし)

●シュートゾーンの設置

ロングシュートができないため、前進するために観る認知力や状況判断する力がつきます。

●ゴールを2つ設置

ゴールが2つあることで顔を上げてプレーし自然と両ゴールを観察するようになります。3人と少ない人数で行うため、常にボールを持っていない選手の関わりが必要となるため自然とポジション取りを意識します。

フニーニョをプレーすることで、ドリブルで運ぶ技術や、パスの技術、周りを観る認知力が身に付きます。